

## 平成 21 年度事業報告書

### 〔1〕 政策研究

昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

月 / 日	講師名	役 職	テ ー マ
21. 5. 28	松 谷 明 彦	政策研究大学院大学 教授	世界同時不況克服と人口減少下の 日本経済
11. 5	松 尾 文 夫	ジャーナリスト	これからの日米関係
22. 2. 2	長 島 忠 美	衆議院 議員	我が国の災害対策と地域格差につ いて

### 〔2〕 研修セミナー（フォーラム' 80）

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象に  
として、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継  
者を育成することを目的とした研修セミナー（フォーラム' 80）を実施した。

#### （1） 開講状況（平成 20 年度からの継続を含む）

第 61 期 : 開講日 ..... 平成 20 年 12 月 4 日  
終講日 ..... 平成 21 年 10 月 15 日

※ 修了後、第 61 期生会を結成し、定例研究会その他自主活  
動を行なっている。

第 62 期 : 開講日 ..... 平成 21 年 5 月 19 日  
終講日 ..... 平成 22 年 3 月 9 日

※ 修了後、第 62 期生会を結成し、定例研究会その他自主活  
動を行なっている。

第 63 期 : 開講日 ..... 平成 21 年 12 月 3 日

※ 現在受講中

#### （2） 講師・テーマ一覧（本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略）

##### <第 61 期>

月 / 日	講 師 名	役 職	テ ー マ
21. 4. 9	野 口 秀 行	ノースアジア大学 特任教授	世界的金融危機と今後の日本
4. 16	楠 美 憲 章	元日産自動車(株)副社長 中央大学大学院 教授	これからの企業
4. 23	森 亮 二	(財) 東京財団 研究員	地方自治体ガバナンス研究
5. 14	今 西 光 男	ジャーナリスト	メディアはなぜ危機にあるのかー資 本と経営の問題を中心にー

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
5.21	森 信 茂 樹	中央大学法科大学院 教 授	わが国に求められる税制改革
6. 4	土 野 繁 樹	ジャーナリスト	ヨーロッパから見たオバマ改革
6.11	野 田 健太郎	日本経済研究所 調査第一部長	防災マネジメントによる企業価値向上に向けて
6.16	佐 伯 啓 思	京都大学大学院 教 授	経済危機からの転換
6.25	小 林 英 夫	早稲田大学大学院 教 授	日本の近代化と東アジア－中国（特に東北部）と韓国を組上に－
7. 2	佐々木 秀 幸	日本陸上競技連盟 名誉副会長	最近のスポーツ界について
7. 9	小 寺 次 郎	外 務 省 国際情報統括官	最近のロシア情勢と日ロ関係の展望
7.14	加 地 伸 行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
7.23	呉 忠 根	群馬県立女子大学 非常勤講師	朝鮮半島情勢について
9.24	柴 田 明 夫	丸紅経済研究所 所 長	資源エネルギー問題とこれからの日本
10. 1	松 本 健 一	評論家	政権交代後の日本のアジア外交について
10.15	終 講 式		

<第62期>

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
5.19	開 講 式		
5.26	太 田 清 彦	防衛大学校 教 授	新しい軍事力の役割
6. 2	渥 美 堅 持	東京国際大学 名誉教授	イスラーム文化－歴史、宗教、政治、社会－
6. 9	土 野 繁 樹	ジャーナリスト	ヨーロッパから見たオバマ改革
6.16	佐 伯 啓 思	京都大学大学院 教 授	経済危機からの転換
6.25	小 林 英 夫	早稲田大学大学院 教 授	日本の近代化と東アジア－中国（特に東北部）と韓国を組上に－
7. 9	小 寺 次 郎	外 務 省 国際情報統括官	最近のロシア情勢と日ロ関係の展望
7.14	加 地 伸 行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
7.21	大 来 洋 一	政策研究大学院大学 客員教授	日本経済の展望と課題
9.24	柴 田 明 夫	丸紅経済研究所 所 長	資源エネルギー問題とこれからの日本
9.29	吉 田 恵 一	東京電力(株) 秘書部 マネージャー	地球環境問題と電力会社の取り組み

月/日	講師名	役職	テーマ
10. 6	鈴木昌治	有限責任監査法人 トーマツ パートナー	公認会計士業界の現状と課題
10.13	吉武博通	筑波大学 大学院 教授	大学改革の現状と課題
10.20	田宮英和	三井物産 (株) 生活産業事業管理室長	企業経営におけるリストと管理 ー新たな統合リスク管理手法ー
10.27	今西光男	ジャーナリスト	メディアはなぜ危機にあるのかー資 本と経営問題を中心にー
11.10	呉忠根	群馬県立女子大学 非常勤講師	北朝鮮の現状と朝鮮半島情勢の展望
11.17	野口秀行	ノースアジア大学 特任教授	民主党政権下の日本経済
11.24	森亮二	東京財団 研究員	政権交代と地方のあり方
12. 1	野田健太郎	日本経済研究所 調査第一部長	防災マネジメントによる企業価値向 上に向けて
12. 8	増田英樹	(株) バリデックス 社長 元 (株) オムロン 副社長	階級のない中国の格差
12.15	山口俊治	日本航空 安全推進本部安全企画グループ	JAL の安全への取り組みについて
22.1.21	森政弘	東京工業大学 名誉教授	矛盾を超えるー「非」の論理ー
1.26	美甘哲秀	丸紅経済研究所 副所長	日本の食料を取り巻く環境
2. 9	中島英也	(株) CSK サービスウェア 執行役員	D-SAT リダクション (不満の削減) について
2.16	篠田邦彦	経済産業省 資金協力課長	官民連携 (PPP) による我が国インフラ /システムの海外展開支援について
2.23	荒木光弥	(株) 国際開発ジャーナル 代表取締役社長	国家戦略から見た日本の ODA
3. 2	楠美憲章	元日産自動車(株)副社長 中央大学大学院 教授	これからの企業経営に求められるもの
3. 9	終 講 式		

<第63期>

月/日	講師名	役職	テーマ
21.12.3	開 講 式		
12.10	大来洋一	政策研究大学院大学 教授	日本経済を現状と長期的課題
12.17	園田矢	東海大学 教授	建国60周年を迎えた中国と今後の日 中関係の展望
22.1.14	番匠幸一郎	防衛省 陸上幕僚監部 防衛部長	国際情勢と日本の防衛
1.21	森政弘	東京工業大学 名誉教授	矛盾を超えるー「非」の論理ー
2.18	渥美堅持	東京国際大学 名誉教授	イスラーム文化ー歴史、宗教、政治、 社会ー

月/日	講 師 名	役 職	テ ー マ
2.25	吉 田 恵 一	東京電力 (株) 秘書部 マネージャー	エネルギー情勢と電気事業をめぐる 諸課題
3. 4	加 賀 山 進	(株) シマンテック 代表取締役社長	インターネットの新しい脅威
3.11	田 中 輝 彦	あずさ (監) 代表社員	一般教養としての IFRS 入門
3.18	深 町 宏 樹	元アジア経済研究所 研究主幹	混沌とする南西アジア－アフガン・ パキスタンを中心に－

### (3) 見学会・合宿・その他活動

①	期 日	平成 21 年 6 月 12 日 (金)
	視察、訪問先等	清水建設 技術研究所
②	期 日	平成 21 年 6 月 18 日 (木)
	視察、訪問先等	陸上自衛隊第一空挺団
③	期 日	平成 21 年 7 月 10 日 (金)
	視察、訪問先等	日本電信電話 武蔵野研究開発センタ
④	期 日	平成 21 年 7 月 31 日 (金) ～8 月 1 日 (土)
	視察、訪問先等	マツダ 宇品工場、マツダ ZomZom スタジアム、海上自衛隊呉基地
⑤	期 日	平成 21 年 8 月 28 日 (金) ～29 日 (土)
	視察、訪問先等	陸上自衛隊富士総合火力展示演習
⑥	期 日	平成 21 年 11 月 6 日 (金)
	視察、訪問先等	二子玉川東地区再開発事業現場 (東京急行電鉄)
⑦	期 日	平成 21 年 11 月 13 日 (金) ～14 日 (土)
	視察、訪問先等	自衛隊那覇基地、普天飛行場、全日本空輸 那覇空港貨物ターミナル、NTT ドコモスマートフォンケア
⑧	期 日	平成 21 年 12 月 4 日 (金)
	視察、訪問先等	三井不動産 仙台プロジェクト (ミッドプレイス仙台、仙台三井ビル)、新 日本石油 仙台製油所
⑨	期 日	平成 22 年 2 月 19 日 (金) ～20 日 (土)
	視察、訪問先等	東京電力 柏崎刈羽原子力発電所
⑩	期 日	平成 22 年 3 月 12 日 (金) ～13 日 (土)
	視察、訪問先等	新日本製鐵 八幡製鉄所 北九州エコタウン、西日本オートリサイクル、 西日本高速道路 太宰府道路管制センター
⑪	期 日	平成 22 年 3 月 18 日 (金)
	視察、訪問先等	大正製薬 大宮工場

## 【3】 国際交流

平成 21 年 9 月第 30 回海外研修団を組織し、総勢 26 名で韓国、中国を訪問した。  
概要は次の通り。

① 期 間	平成 21 年 9 月 7 日～9 月 17 日	
② 団 長	恩 田 宗 氏	(社)総合研究フォーラム 常任理事
③ 秘 書 長	江 越 眞 氏	有限責任監査法人トーマツシニアアドバイザー
グループリーダー	宇 田 川 航 也 氏	日機装 株式会社
同 上	櫻 井 敏 治 氏	三井物産 株式会社
同 上	新 井 新 介 氏	三井物産 株式会社

同 上	松 田 浩 氏	新日本製鐵 株式会社
④ 報告書編集長	黒 澤 大 志 氏	東日本電信電話 株式会社
同 上	佐 藤 堅 二 氏	東京ガス 株式会社
編集委員	佐久間 毅 彦 氏	株式会社 協和エクシオ
同 上	井 上 淳 氏	総合警備保障 株式会社
同 上	杉 田 雅 史 氏	清水建設 株式会社
同 上	谷 藤 賢 治 氏	株式会社 協和エクシオ
同 上	平 松 寛 之 氏	西日本高速道路 株式会社
⑤ 主な訪問地	ソウル（韓国）、北京、哈爾浜、瀋陽、大連（以上中国）	
⑥ 訪問地別主要行事（肩書きなどは当時）		
東 京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 井川原日中経済室首席事務官、藤村北東アジア課事務官講話</li> <li>・ 恩田団長講話</li> </ul>	
ソ ウ ル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重家大使講話</li> <li>・ 高杉ソウルジャパンクラブ元理事長講話</li> </ul>	
北 京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮本大使講話</li> <li>・ 青山日本商会事務局長講話</li> <li>・ 松野清華大学野村総研中国研究センター理事講話</li> </ul>	
哈 爾 浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内視察（黒龍江省博物館ほか）</li> </ul>	
瀋 陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松本総領事講話</li> <li>・ 顧常務副市長表敬</li> <li>・ 劉経済技術開発区招商局長講話</li> <li>・ 瀋陽机床グループ、遠大グループ、ブリヂストン各社訪問</li> <li>・ 雨宮弁護士講話</li> </ul>	
大 連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠山大連出張駐在官事務所長講話</li> <li>・ 生経済技術開発区経済貿易局副局長講話</li> <li>・ 大連高新技术園区訪問</li> <li>・ 大連软件园訪問</li> <li>・ 団長、団員による研修総括発表</li> </ul>	